

栃木県教育委員会定例会会議録

平成28年2月4日(木)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席委員は次のとおりである。

1 番 (委員長)	岡	直 樹
2 番	吉 澤 慎	太 郎
3 番	伏 木 由	佳 子
4 番	工 藤	敬 子
5 番	陣 内	雄 次
6 番 (教育長)	古 澤	利 通

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教 育 次 長	金 田	繁 夫
教 育 次 長	金 井	正 誠
総合教育センター所長	長 野	金 市
総 務 課 長	石 崎	隆 治
施 設 課 長	江 連	幸 宏
教 職 員 課 長	宇 梶	美 誠
学 校 教 育 課 長	中 田	清 隆
特 別 支 援 教 育 室 長	猪 瀬	好 和
生 涯 学 習 課 長	塩 澤	晃 満
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	荷 見	信 男
文 化 財 課 長	伊 藤	祐 子
健 康 福 利 課 長	今 泉	恵 治
国 体 準 備 室 長	入 野	浩 明
総 務 主 幹	鈴 木	和 修
人 権 教 育 室 長	赤 羽	
児 童 生 徒 指 導 推 進 室 長	野 中	
学 力 向 上 推 進 室 長	羽 瀬	
世 界 遺 産 登 録 推 進 室 長		

3 午前10時18分、委員は全員出席しており、委員会は成立したので、定例会を開催する旨を告げた。

4 委員長は、本日の会議録署名委員に4番工藤委員を指名した。

5 委員長は、本日の議案等のうち、第3号議案及び第6号議案については、欠番である旨を告げ、また、第1号議案、第2号議案、第7号議案、第8号議案及び第9号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(旧法)第13条第6項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨、各委員に諮ったところ、全委員の賛成により非公開とすることに決定した。

6 委員長は、報告を受ける旨を告げた。

7 報 告

- (1) 平成27年度文部科学大臣優秀教職員表彰について
委員長は、事務局からの説明は割愛する旨を告げた。
この報告に関して、委員から質問や意見はなかった。
- (2) 平成28年度栃木県立中学校入学者選考の結果について
委員長から説明を求められ、学校教育課長が説明した。
この報告に関して、委員から次のような質問や意見等があった。

[委 員]

- ・ 矢板東高附属中の男子の受検者数が少なく、女子の半分しかないが、何か理由があるのか。

[事務局]

- ・ 男子の場合は、部活動の仲間同士でどこを受けようかとなったときに、どうしても附属中学校では部活動が限られているので、集団的に受けない場合もあると聞いており、その辺も一因であると考えられる。

[委 員]

- ・ 3学年ともこの傾向であると、男子の数がかなり少なくなってしまうので、できるだけ同数が受けてみたいとなると思う。

8 委員長は、一部順番を入れ替え、審議に移る旨を告げた。

9 第4号議案 「栃木県教育振興基本計画2020 —教育ビジョンとちぎ—」の策定について

第4号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
この議案に関して、委員から次のとおり質問や意見等があった。

[委 員]

- ・ 推進指標の目標値で、「全国学力・学習状況調査の平均正答率が全ての教科で全国平均正答率を上回る」とあるが、目標ならば、もう少し高めに設定する必要はないのか。

[事務局]

- ・ 全国で、全ての教科で全国平均を上回っているのは10県しかなく、ハードルとして低いものではないと考えている。また、全ての教科において幅広く、全国的にみても遜色のない学力を子どもたちにつけたいということで、この目標値を考えたところである。

[委 員]

- ・ それは、全国で何位くらいのレベルになると考えたらいいのか。11位になるということか。

[事務局]

- ・ 必ずしもそういう意味ではないが、そのくらいになるように頑張っていくという意識で臨んでいきたい。

[委員]

- ・ 推進指標の「志を立て未来をつくる」の部分は、一見かなり高い設定になっていると印象を受ける目標値もあるが、そこへ行ける道すじを考えての設定になっていると考えてよいか。

[事務局]

- ・ お見込みのとおり、道すじを考えた上での設定となっている。

[委員]

- ・ 18ページの下の写真の説明で、「東日本大震災の被災地を訪問し、現地の方から体験談を聞く」ことを「実践的な防災教育」としているが、「実践的」というと、例えば住んでいる地域の防災マップを作るといったイメージになるのだがどうか。

[事務局]

- ・ ここでは、「リアルな」という意味で用いている。

[委員]

- ・ 34ページの「赤ちゃんとのふれあい交流体験」の写真が、前回の資料では、男の子が赤ちゃんを抱いている写真であったが、それが差替えになってしまっている。これから男性も子育てに参画していくということも含めて表現しているのだなということにより写真だと思っていたので残念である。

[事務局]

- ・ 写真の印象を比較して差替えた次第である。

[委員]

- ・ 8ページの「基本理念」と次のページの「基本目標」の囲みが同じであるが、「基本理念」をもう少し強調すべきではないか。

[事務局]

- ・ 製本印刷の段階でレイアウトを工夫したい。

- 10 第5号議案 栃木県立学校施設長寿命化保全計画の策定について
第5号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
この議案に関して、委員から次のとおり質問や意見等があった。

[委員]

- ・ 法定点検というのはどのくらいの頻度で行うのか。

[事務局]

- ・ 部位ごとに異なるが、電気設備は年1回、外壁の検診は3年に1回などとそれぞれ決められている。

[委員]

- ・ 日常点検は学校施設管理者が行うとあるが、教育委員会事務局が行うのか、各学校に一人ひとりいるのか。

[事務局]

- ・ 日常点検は、学校の事務長あるいは公仕が定期的に目視で行うものであり、これまでも実施している。

[委員]

- ・ 40年にわたる長期の計画だが、人口減少などによる高校再編とはリンクしていくと考えるよいか。

[事務局]

- ・ この計画は、現在ある学校の長寿命化を図る方針を定める計画であるが、今後、高校再編のようなことが決まっていけば、それに対応して、その都度、どこの学校のどこを修繕していくかを検討していく。

[委員]

- ・ 県有施設のすべてがこの方針で進めていくのか。学校施設だけなのか。

[事務局]

- ・ これは学校施設に限定した計画だが、これ以外に施設ごとに同じような計画を定めて進めていくことになっている。

11 第10号議案 有形文化財及び史跡の指定について

第10号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

この議案に関して、委員から次のとおり質問や意見等があった。

[委員]

- ・ 祇園城跡出土品は、小山市立博物館所蔵となっているが、一般の県民が見たり学んだりはできるのか。

[事務局]

- ・ 展示室に展示しているので、一般の方も閲覧することができる。

[委員]

- ・ 是非、地域の学習などに役立ててもらいたい。

[委員]

- ・ 浅間塚古墳のほうは、「地域の歴史学習での活用が期待される」とあるが、現状はどうか。

〔事務局〕

- ・ 現在でも見たいという方は、学校のほうに申し出れば中に入って見ることができる。説明板なども設置してある。

〔委員〕

- ・ 地域の小学校や中学校などで学習に使うこともしているのか。

〔事務局〕

- ・ お見込みのとおりである。

- 12 委員長は、第1号議案、第2号議案、第7号議案、第8号議案及び第9号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。
- 13 第1号議案 平成27年度2月補正予算案について
第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 14 第2号議案 平成28年度当初予算案について
第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 15 第7号議案 栃木県公立学校職員給与条例の一部改正について①
第7号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 16 第8号議案 栃木県公立学校職員給与条例の一部改正について②
第8号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 17 第9号議案 学校職員定数条例の一部改正について
第9号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 18 委員長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前11時39分、閉会した。